

令和6年度第2回広報・広聴委員会 会議報告

日 時	令和6年8月30日（金）14：00～15：55
場 所	オンライン方式
出席者	藤吉委員長、宇野、鎌田、富田、山田、吉原、 関根（事務局）
欠席者	久保庭、内藤（事務局）

○開会

○協議事項

（1）令和6年度会報計画（会報第116号・117号）

- ・会報116号の進捗状況について、事務局より説明。本日時点で執筆者校正中であり、9月中旬頃に再校を予定している。再校は短期間での作業となるので、委員各位は心積もりいただきたい。
- ・会報117号（大会特集号）の構成案について、事務局より説明。構成案は例年同様のつくりとしたものであるが、見直すべき点等あればこの機会に協議したい旨、事務局より問題提起した。
- ・協議の結果、全体としては従来通りの構成とするが、従来逐語的に掲載してきた会長・来賓あいさつ等を、広報・広聴委員会において開会行事の概要を1ページ程度でまとめることとする。
- ・施設見学については、昨年度と同様に広報・広聴委員会において1ページで概要をまとめることとする。
- ・座談会企画については、大会・研修委員会でも録音するだろうが、広報・広聴委員会において録音した上でテープ起こしを行う方向で大会・研修委員会と調整する。テープ起こしたものを当委員会で文章化し、各発言者に事前確認という趣旨で確認いただくこととする。
- ・調査・研究委員会による能登半島地震関係報告は2ページで仮置きとする。
- ・大会参加記は参加者名簿がまとまり次第、検討する。現時点では2名×1ページで仮置きとする。

（2）会誌『記録と史料』第35号の構成

- ・11月開催のEASTICAについては、参加報告を会誌に載せることも検討していたが、開催時期と原稿〆切（11月末）の関係で詳細な内容のものを載せることは厳しい。このため、副会長事務局と調整し、会報117号に事実関係のみの速報記事を0.5～1ページ程度で掲載する方向で副会長事務局と調整する。

（3）その他

- ・特になし

○報告事項

(1) 令和6年度総会の結果について

- ・事務局より、7月13日に開催された総会の結果について概要を報告した。
- ・次年度の体制について、委員から状況確認があった。委員長・事務局とも特段の情報は得ておらず、引き続き会長事務局や役員会の動向を注視していくことを確認した。秋以降は新旧事務局の引継ぎなども予定されているので、場合によっては委員長から会長への要望書等を提出することも検討していく。

(2) その他事務連絡等

- ・特になし

以上